

令和8年度

大学院教育学研究科（教職大学院）

学 生 募 集 要 項



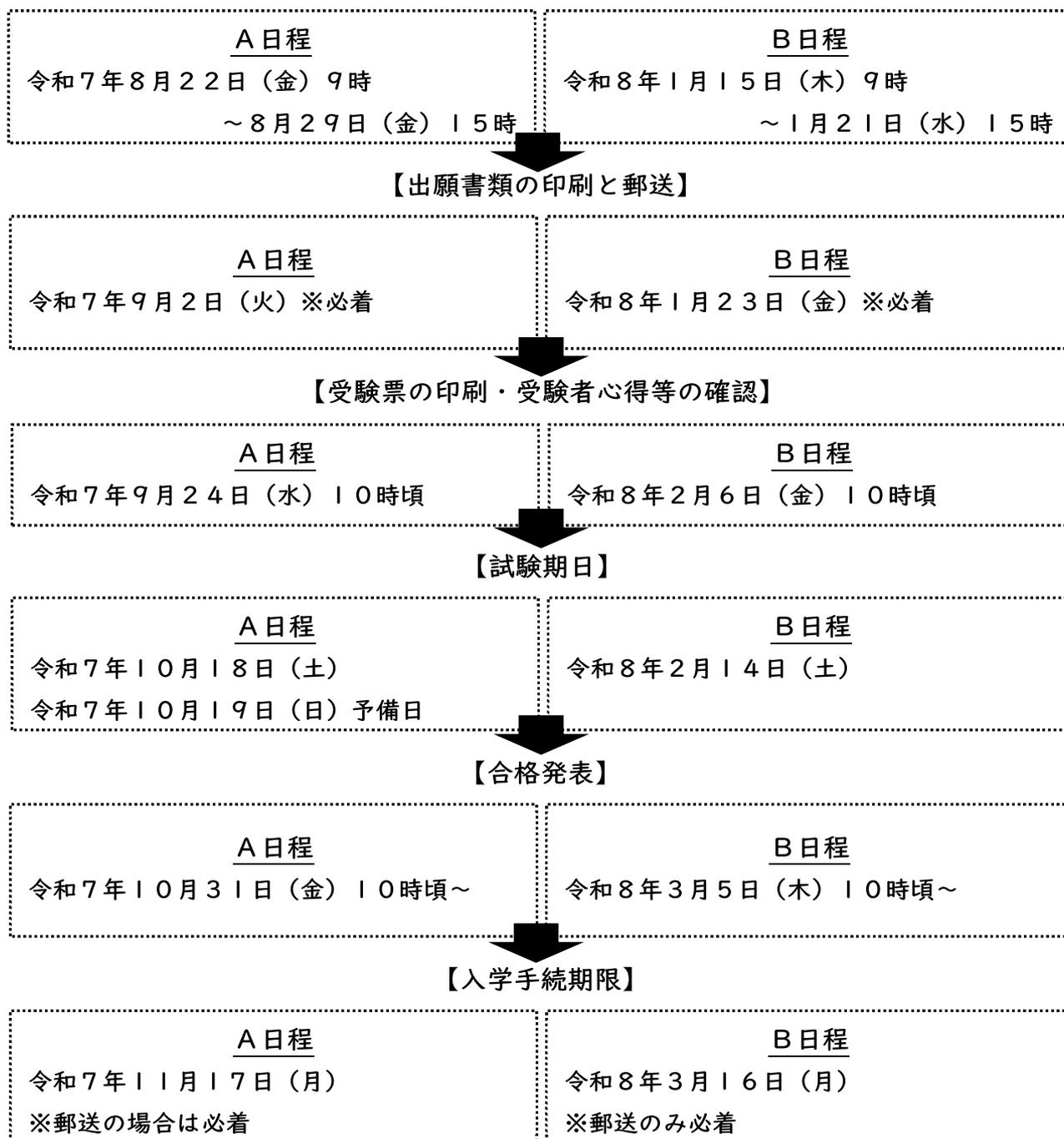
東京学芸大学

令和7年4月

令和8年度東京学芸大学大学院教育学研究科(教職大学院)試験期日等日程

【インターネット出願サイト】

・マイページの登録 ・出願内容の登録 ・検定料の支払い



【お問い合わせ先】

○「入学者選抜試験」について

学務部入試課 ・ ☎042-329-7203

・入試に関するお問い合わせフォーム

<https://forms.office.com/r/xU9hcPqRCD>

※フォームは試験当日などの緊急連絡には使用できません。



○「カリキュラム, 履修基準, 教員免許取得方法等」について

学務部大学院課 ☎042-329-7707

目 次

○ 大学院教育学研究科（教職大学院）のアドミッション・ポリシー	2
1. 募集人員	3
2. 出願資格	4
3. 『2.出願資格の（1）の⑨』により出願しようとする者の資格認定について	6
4. 標準修業年限	7
5. 現職教員等に対する特例等	7
6. 教員免許取得のための特別なコース	8
7. 出願手続	9
8. 受験に際して配慮を必要とする者の事前相談	13
9. 選抜方法等	14
○ 学力検査等の内容及び時間	15
○ 音楽教育サブプログラムの学力検査等の内容及び時間 （一般選抜・現職教員選抜・外国人留学生等選抜）	21
10. 合格者の発表	22
11. 欠員補充第2次募集	22
12. 入学手続	22
13. 諸経費	22
14. 留意事項	23
15. 入学試験情報	23
16. 個人情報の取扱いについて	23
○ 入学料及び授業料免除制度	24
○ 日本学生支援機構奨学金の予約採用制度	24
○ 本学へのアクセス・構内キャンパスマップ	24
<参考>東京学芸大学インターネット出願の流れ	25

○大学院教育学研究科（教職大学院）のアドミッション・ポリシー

【教育学研究科（教職大学院）教育実践専門職高度化専攻】

教育学研究科（教職大学院）教育実践専門職高度化専攻は、①教科等の指導や現代的な教育課題に対する取組において、教職員・保護者・地域の人々・専門家と協働して問題解決にあたることのできる高度な実践的指導力を備え、学校や地域の教育活動においてリーダーとなる教員（スクールリーダー）、②日本型教育システムを学校経営や教育実践等の観点から国際的に展開できる人材を養成することを目的とし、以下のような人々を求めている。

1. 教科等の専門的知識と基礎的な実践力、向上心を有する大学卒業予定者あるいは社会人で、高度な実践的指導力を備えたスクールリーダーを志す人
2. 学校における豊かな教育経験に裏付けられた専門的知識と実践力、現代的な教育課題に対して強い解決への意欲を有する現職教員で、高度な実践的指導力を備えたスクールリーダーを志す人
3. 日本以外の国・地域での学びをもとに、学校経営や教育実践等に関する日本型教育システムについて知見を深め、修得した専門的知識をいかして、将来にわたって教育の向上に貢献することを志す人

入学者選抜においては、教職大学院において学ぶ上で必要とされる実践力等を有しているかを判断するために、小論文、専門試験、面接、出願書類により総合的に評価を行う。

1. 募集人員

専攻	入学定員	プログラム	サブプログラム	募集人員		
				A日程 ・一般選抜 ・現職教員選抜 ・外国人留学生等選抜 ・派遣教員選抜 ・特別選抜	B日程 派遣教員選抜 (第2回)	
教育実践専門職高度化専攻	210名	学校組織マネジメント (注1)		205名	5名	
		総合教育実践				
		教科領域指導	国語教育			
			社会科教育			
			数学教育			
			理科教育			
			音楽教育			
			美術・工芸教育			
			書道教育			
			保健体育教育			
			技術教育			
			家庭科教育			
			英語教育			
			情報教育			
			幼児教育			
		養護教育				
		特別支援教育高度化				
教育プロジェクト	学校教育課題					
	国際理解・外国人児童生徒教育					
	環境教育					
合計				205名	5名	

- (1) 志願者は、志望するいずれか1つのプログラム・サブプログラムに限り出願することができます。
- (2) 入学者選抜は、一般選抜、現職教員選抜、外国人留学生等選抜、派遣教員選抜、特別選抜のいずれか1つの区分に限り出願することができます。

(注1) 学校組織マネジメントプログラムは、現職教員選抜、派遣教員選抜、外国人留学生等選抜のみを実施しています。現職教員選抜、派遣教員選抜への出願は、現在、教員として在職中の者（ただし、任期付き雇用の者又は入学後に退職予定の者を除く）に限ります。外国人留学生等選抜においては、出願前に担当教員との事前面談を行うことを推奨します。事前面談については、大学院課教職大学院係 (kyoushi@u-gakugei.ac.jp) までお問い合わせください。

2. 出願資格

基礎資格を有し、かつ、選抜区分ごとの出願要件を満たしている者

(1) 基礎資格

次の①から⑨のいずれかに該当する者

- ① 日本の大学を卒業した者又は令和8年3月までに卒業見込みの者
- ② 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者又は令和8年3月までに授与される見込みの者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は令和8年3月までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は令和8年3月までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和8年3月までに修了見込みの者（注1）
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって出願資格⑤の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は令和8年3月までに修了見込みの者（注2）
- ⑧ 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号参照）（注3）
- ⑨ 本学大学院教育学研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和8年3月31日までに22歳に達する者（注4）

(注1) 該当する教育施設及び課程（文部科学省ウェブサイト）

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shitu/08052204/1417852.htm



(注2) 該当する専修学校専門課程（文部科学省ウェブサイト）

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111316/002.htm



(注3) 該当する者（文部科学省ウェブサイト）

https://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/nc/k19530207001/k19530207001.html



(注4) 個別の入学資格審査を必要とする者は、短期大学、高等専門学校、専修学校（出願資格⑦に該当するものを除く。）、各種学校、その他の教育施設、外国大学日本分校の卒業生、外国の2年制・3年制大学（出願資格⑥に該当するものを除く。）等の卒業生、中国における自学考試による学位取得者等が該当します。6頁の「3.『2.出願資格の(1)の⑨』により出願しようとする者の資格認定について」により申請書類を提出してください。個別の入学資格審査の要否が不明な場合は、事前に入試課へ問い合わせてください。

(2) 選抜区分ごとの対象者及び出願要件

選抜区分	対象者	出願要件
一般選抜	大学新卒者や社会人等，以下の選抜区分のいずれにも該当しない者	次の①又は②のいずれかに該当する者 ① 教育職員免許法第4条第2項に定める普通免許状（1種）を有する者又は令和8年3月末までに取得見込みの者 ② 教育職員免許法第4条第2項に定める普通免許状（2種）を有する者であって，初等中等教育において10年以上の教職経験（注1）を有する者，又はそれに準ずる社会経験を有すると認められる者（注2）
現職教員選抜	現職教員 又は 教育関係諸機関に在職している者	次の①及び②に該当する者 ① 在職のまま入学を希望する常勤の者（任期付き雇用の者を除く）で，次のア又はイのいずれかに該当する者（注3） ア 学校教育法第1条に規定する学校の教員 イ 教育公務員特例法第2条に規定する教育公務員 ② 教育職員免許法第4条第2項に定める普通免許状（1種）を有する者，又は教育職員免許法第4条第2項に定める普通免許状（2種）を有する者であって初等中等教育において10年以上の教職経験（注1）を有する者
外国人留学生等選抜	外国人留学生 又は 外国において教育を受けた者	次の①又は②のいずれかに該当する者 ① 日本の大学に留学する目的をもって入国した者で，外国人留学生等選抜を希望する者（注4） ② 日本国籍を有する者及び外国籍を有し在留資格が「定住」若しくは「永住」となっている者のうち，外国において中等教育以降大学等卒業までのすべての期間，その国の教育制度に基づく教育を受けた者で，外国人留学生等選抜を希望する者（注5）
派遣教員選抜	現職教員 又は 教育関係諸機関に在職している者	次の①又は②のいずれかに該当する者 ① 都道府県教育委員会・指定都市等教育委員会から大学院派遣研修として1年以上にわたり勤務を離れ研修を行うことの命令を受けた者，又は承認を得て推薦された者 ② 東京学芸大学附属学校内地研修員として選出された者
特別選抜	東京学芸大学教員養成高度化大学間連携コース参加者 又は 東京学芸大学次世代学校リーダー養成コース参加者	次の①を満たした上で，②又は③のいずれかに該当する者 ① 教育職員免許法第4条第2項に定める普通免許状（1種）を有する者又は令和8年3月末までに取得見込みの者 ② 東京学芸大学教員養成高度化大学間連携コースに登録し，スタートパスプログラムに参加した者のうち，指定された内容を修了した者 ③ 東京学芸大学次世代学校リーダー養成コースに登録し，活動に参加した者のうち，内部選考に合格した者

(注1) 一般選抜，現職教員選抜の出願資格において，経験年数の算出は，入学時点（令和8年4月1日現在）において，勤務形態が常勤又は常勤の職員と同等である非常勤の職にあった期間を指す。なお，1か月未満の期間がある場合は1か月に切り上げて算出する。休職した期間がある場合にはその期間を除く。

(注2) 一般選抜の出願資格において，初等中等教育における10年以上の教職経験に準ずる社会経験を有すると認められる者とは，教職大学院で学ぶ上で基礎となる10年以上の実務経験を有すると本学が認める者（例保育士，看護師，保健師，助産師）を指す。

(注3) 現職教員には，大学院修学休業制度等により休業中（予定）の者を含む。

(注4) 外国人留学生について，在留資格が「定住」若しくは「永住」となっている者は，「日本の大学に留学する目的をもって入国した者」とは認められない。

(注5) 外国において教育を受けた者について，外国に設置された学校であっても，日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校（日本人学校等）に在籍した者は除く。

3. 『2. 出願資格の(1)の⑨』により出願しようとする者の資格認定について

本学大学院教育学研究科への入学資格審査を申請する者は、下記の書類①～⑥を一括して、申請期間中に東京学芸大学入試課あてに「書留速達」にて郵送（必着）してください。

申請期間〔A日程〕 令和7年7月1日（火）～令和7年7月4日（金）

〔B日程〕 令和7年12月24日（水）～令和7年12月26日（金）

申請先 〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1 東京学芸大学入試課

書類等の名称	摘 要
① 入学資格審査申請書	・ 本学所定の用紙（注1） ・ 取得免許状等諸資格については、証明書を添付すること
② 成績証明書及び卒業（見込）証明書	・ 原本を提出すること（コピー不可） ・ 高等学校卒業後の学歴に関するすべての証明書を提出すること ・ 出身学校の学校長、学長又は学部長が作成したもの（注2） ・ 日本語又は英語以外の言語で作成された証明書には、必ず日本語訳又は英語訳を添付すること（様式自由）
③ 在職証明書（該当者のみ）	本学所定の用紙（注1）
④ 教育研究歴・活動歴・学習歴申立書（該当者のみ）	・ 本学所定の用紙（注1） ・ 教育研究歴、芸術・スポーツ・文化活動歴もしくは国際団体等での活動歴又は学習歴がある者は提出すること（また、それを証明できる書類を提出のこと）
⑤ 教育研究業績等一覧	・ 本学所定の用紙（注1） ・ 教育研究業績、活動実績又は学習内容を記入の上、教育実践記録、口頭発表、研究論文、競技記録、発表記録、表彰等がある者は、その写しなど証明できるものを添付して提出すること（業績等のない者もその旨を明記し、提出すること）
⑥ 返信用封筒	郵便番号・住所・氏名を明記し、410円分の切手を貼付した長3形封筒

この他に必要に応じて証明書等の提出を求める場合があります。提出された書類等は返還しません。入学資格の審査結果は、申請者に対し、A日程については8月上旬、B日程については1月中旬（予定）に文書により通知します。

（注1） 本学所定の用紙は、本学ウェブサイトからダウンロード、印刷してください。

<https://www.u-gakugei.ac.jp/nyushi/shushi/post-5.html>



（注2） 中国（香港・マカオ・台湾を除く。以下同じ。）の高等教育機関を卒業した者は、出身学校の学校長、学長又は学部長が作成した卒業証明書の代わりに中国高等教育学生信息网（CHSI）において申請・取得した以下の書類（英文版）を各自印刷して提出してください。

- ・ 「Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate」
- ・ 「Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate」

中国の高等教育機関を卒業見込みの者は、日本語版又は英語版（中国語の原本を提出する場合は必ず日本語又は英語の翻訳を添付すること）の卒業見込証明書の代わりに、中国高等教育学生信息网（CHSI）において申請・取得した以下の書類（英文版）を印刷して提出してください。

- ・ 「Online Verification Report of Student Record」

※中国高等教育学生信息网（CHSI）の証明書については、申請から取得まで時間を要するため、期間に余裕をもって申請するようにしてください。

4. 標準修業年限

2年

なお、現職教員（「現職教員選抜」又は「派遣教員選抜」の志願者）のうち「1年履修プログラム」による履修を認められた者は、1年で修了することができます。次の「5. 現職教員等に対する特例等」を参照してください。

また、一般選抜又は特別選抜の志願者のうち希望する者が8頁「6. 教員免許取得のための特別なコース」の受講を許可された場合の修業年限は3年となります。

「長期履修学生」制度について

学生が「職業を有している」等の事情により、教育学研究科の標準修業年限（2年）を超えて一定の期間（3年又は4年）にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する旨を申し出たときは、その計画的な履修を認めることができる制度（「長期履修学生」制度）があります。ただし、特定の時間帯にしか開講していない科目（必修科目を除く）がありますので、ご注意ください（例：IB教員資格取得のための授業科目は1限のみ）。

この制度により長期履修学生が修了するまで、1年間に納める授業料の額は、標準修業年限（2年分）の授業料を、計画的に履修することを認められた一定の期間の年数（3年又は4年）で除した額となります。

なお、この制度は、在学途中で長期履修を申請することもできますが、その場合の授業料は標準修業年限分の授業料より高くなりますのでご注意ください。

5. 現職教員等に対する特例等

(1) 実務経験による実習単位の一部免除について

教育職員免許法による免許状の取得を必要とする学校種（幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校）の教員として5年以上の勤務経験を有する者は^(※1)、審査^(※2)により実習（「教職専門実習」）10単位のうち8単位を免除します。

※1 5年以上の勤務経験とは、令和8年4月1日現在、通算して5年以上となる場合を指します。経験月数が1ヶ月未満の期間がある場合は、1ヶ月に切り上げて計算します。非常勤講師や任期付き雇用の期間、休職（休業）期間は、経験年月数に算入しません。

なお、一般選抜の志願者については、令和8年3月末時点で教職を離職後5年以内の場合に限ります。

※2 審査は、「実務の状況に関する申立書」と、入学者選抜試験の面接後に実施する面接により行います。この審査は、入学者選抜の可否には関係しません。

(2) 1年履修プログラムの履修の可否について

「1年履修プログラム」とは、現職教員選抜、派遣教員選抜の志願者を対象として、主として教育実践等の実務の経験について審査し、また、上記(1)の「実習8単位免除」が認められることによって1年間の在籍で修了できるプログラムです。

常勤の現職教員として5年以上の勤務経験（上記(1) ※1の経験年数の算出方法による）を有する者は、「1年履修プログラム」の履修を希望することができます。ただし、派遣教員選抜の場合、履修期間については教育委員会と出願前に十分確認してください。

履修の可否の審査は、上記(1)の審査と併せて行います。この審査は、入学者選抜の可否には関係しません。

6. 教員免許取得のための特別なコース

(1) コースの種類

① 小学校教員免許コース

教職に関する広い知識と、特定の教科・領域に関する専門性を有した小学校教員を養成するために、学士の学位を有し、中学校又は高等学校の教諭の普通免許状を有している方（現職教員を除く）を対象とした、小学校教諭一種免許状を取得することができるコースです。

このコースでは、1年次に本学教育学部の教員養成カリキュラムを履修し、小学校教諭一種免許状に必要な単位（教育実習を含む）をすべて修得し、2年次から教職大学院のカリキュラムを履修することになります。そのため、修業年限は3年となることに注意してください。

② 特別支援学校教員免許コース

特別支援教育に関するニーズの高まりに対応するために、学士の学位を有し、小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有している方（現職教員を除く）を対象とした、特別支援学校教諭免許状を取得することができるコースです。

このコースでは、1年次に本学特別支援教育特別専攻科のカリキュラムを履修し、特別支援学校教諭免許状に必要な単位（教育実習を含む）をすべて修得し、2年次から教職大学院のカリキュラムを履修することになります。そのため、修業年限は3年となることに注意してください。

なお、特別支援学校教員免許コースを希望する場合は、特別支援教育高度化プログラムに出願することを推奨します。

(2) コースの受講希望申請の方法

一般選抜又は特別選抜の志願者のうち、これらのコースの受講を希望する場合は、インターネット出願サイトによる手続時に希望有と回答するとともに「⑮免許コース志願理由書」を提出することが必要です。なお、両方のコースを同時に希望することはできません。

受講の可否は、入学者選抜試験とは別に、教職への関心と意欲、適性等について審査した上で決定し、その結果は入学者選抜の合格発表の際に併せて通知します。

(3) コースに関する注意事項

- ・教職大学院の入学者選抜が不合格の場合は、コースを受講することはできません。
- ・コースの受講が不許可であっても、教職大学院の入学者選抜の合格は取り消されません（この場合は、修業年限は2年となります）。
- ・コースを受講すると修業年限は3年となるため、各自治体の教員採用試験における名簿登載期間の延長制度等が適用されない可能性があります。詳細は、各自治体にご確認ください。

7. 出願手続

本学における出願手続は、「インターネット出願登録」及び「出願書類等の郵送」の2段階です。指定の期間内にいずれか一つでも手続が不足している場合は出願を受理しません。また、出願書類のうち、証明書類等は発行に時間を要することが多いため、余裕を持って準備してください。

(インターネット出願の詳細等について、25～28頁を参照してください。)

(1) 出願期間 (入学願書受付期間)

	インターネット出願登録期間 及び入学検定料支払い期間	→	出願書類提出期限 ※書留速達に限り受理します。
A日程	令和7年8月22日(金)9時から 令和7年8月29日(金)15時まで		令和7年9月2日(火)※必着
B日程	令和8年1月15日(木)9時から 令和8年1月21日(水)15時まで		令和8年1月23日(金)※必着

※期間外に出願書類が到着した場合でも、A日程については令和7年9月1日(月)以前、B日程については令和8年1月22日(木)以前の国内発信局消印のある書留速達に限り受理しません。郵便事情を考慮し、十分余裕をもって発送してください。

(2) インターネット出願サイトによる手続

① 下記 URL からインターネット出願サイトにアクセスしてください。

<https://e-apply.jp/ds/u-gakugei/>



② マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。

③ 出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。

④ 検定料の支払い (詳細は12頁)

⑤ 入学志願票及び宛名シートをダウンロードして印刷

※ 「インターネット出願登録期間」以外の期間は、③～④の操作はできません。

※ 出願内容登録後は、登録内容の変更を認めません。

(3) 出願書類等

受験する日程（A日程又はB日程）に応じた出願期間中に、以下に示す出願書類等一式を角形2号封筒にまとめて封入し、「書留速達」により東京学芸大学入試課まで郵送してください。郵送の際は、インターネット出願サイトにて入学志願票とともに印刷される「宛名シート」（カラーで印刷してください）を封筒に貼り付けてください。

- ※1 出願書類等に不備があり、連絡が取れない場合は出願書類を受理しません。
- ※2 また、出願書類受理後は、記載事項の変更を認めません。
- ※3 受理した出願書類等は一切返還しません。（報告書等、作品（作曲・書道）、ポートフォリオ等も同様。）
- ※4 出願手続に不正があった場合は、入学許可の後でもこれを取り消します。

	書類等の名称	提出該当者					摘 要
		一 般	現 職	留 学 生 等	派 遣	特 別	
①	出願書類等提出明細票	◎	◎	◎	◎	◎	◎全員要提出 ▲：摘要欄に該当する者のみ要提出
②	入学志願票	◎	◎	◎	◎	◎	インターネット出願サイトからダウンロードの上、次の3点に注意して印刷し、提出すること ・用紙はA4サイズ ・解像度は300dpi以上 ・カラーで両面印刷 ※インターネット出願登録時に登録する顔写真が入学志願票に掲載されます。顔写真は本人確認にも利用するため、画像編集ソフトやアプリ等による写真加工は行わないでください。
③	卒業（見込）証明書	◎	◎	◎	◎	◎	・原本を提出すること ・出身大学の学長又は学部長が発行したもの（注3） ・編入学等により複数の高等教育機関（大学等）に在籍した場合はすべて提出すること ※卒業証書は不可 ・日本語又は英語以外の言語で発行された場合は、必ず日本語訳又は英語訳を添付すること（様式自由）
④	成績証明書	◎	◎	◎	◎	◎	・原本を提出すること ・出身大学の学長又は学部長が発行したもの ・編入学等により複数の高等教育機関（大学等）に在籍した場合はすべて提出すること ・日本語又は英語以外の言語で発行された場合は、必ず日本語訳又は英語訳を添付すること（様式自由）
⑤	教育職員免許状授与証明書 又は取得見込証明書	◎	◎			◎	・原本を提出すること（コピー不可） ・教育職員免許状授与証明書：都道府県等教育委員会発行 ・取得見込証明書：出身大学発行 ※次の書類は不可：教育職員免許状の写し、有効期間更新証明書、更新講習修了確認証明書 （5頁に記載の出願要件を満たすことが確認できる普通免許状を複数所持している場合は、すべて提出すること）
⑥	面接調査書	◎	◎	◎	◎	◎	本学所定の用紙（注2）
⑦	課題研究計画書	◎	◎	◎	◎	◎	本学所定の用紙（注2）
⑧	推薦書				◎		・本学所定の用紙（注2）又は都道府県等教育委員会が作成したもの ・都道府県等教育委員会から本学への直送可

	書類等の名称	提出該当者					摘 要
		一般	現職	留学生等	派遣	特別	
							◎全員要提出 ▲：摘要欄に該当する者のみ要提出
⑨	教育実践研究履歴申告書 (報告書等を含む)		◎		◎		・本学所定の用紙(注2)(様式裏面の記入例を参照すること) ・代表的な報告書等(原本又はコピー等)5点以内を提出すること。(注4)
⑩	在職(期間)証明書	▲	◎	▲	▲		・本学所定の用紙(注2) ・原本を提出すること(公印がコピーのものは不可) ・次のいずれかに該当する者は、所属長発行のものを提出 1. 一般選抜及び外国人留学生等選抜(在職のまま本学大学院に入学しようとする者):出願時現在の勤務先分のみ 2. 現職教員選抜:現任校分のみ 3. 一般選抜, 現職教員選抜, 派遣教員選抜志願者のうち, 「5. 現職教員等に対する特例等」(7頁参照)を希望する者は, 通算勤務経験が5年以上あることを確認できるように提出すること ※複数の職歴を通算する場合は, 通算5年以上になることが分かるよう複数枚作成すること。 ※国公立学校教員等で, 学校長が人事記録等により在職歴を確認できる範囲において, 在籍期間を集約して証明することは差し支えない
⑪	戸籍抄本等	▲	▲		▲	▲	・各証明書等と現在の姓が異なる者のみ提出 ・改姓の事実が確認できる公的機関発行の証明書等を提出すること ・戸籍抄本等証明書の場合は, 原本を提出すること(コピー不可)
⑫	住民票	▲	▲	◎	▲	▲	・外国籍の者は提出すること ・原本を提出すること(コピー不可) ・市区町村長の発行する証明書(国籍, 在留資格, 在留期間明記のもの) (※短期滞在等で住民票の提出ができない場合のみ, パスポートやビザの氏名及び顔写真が確認できるページの写しでも可とする)
⑬	国費外国人留学生証明書	▲		▲			・日本政府国費留学生は提出すること ・原本を提出すること(コピー不可) ・在籍している大学が発行したもの(在籍身分, 留学期間明記のもの)
⑭	実務の状況に関する申立書	▲	▲		▲		・本学所定の用紙(注2) ・「5. 現職教員等に対する特例等」(7頁参照)を希望する者
⑮	免許コース志願理由書	▲				▲	・本学所定の用紙(注2) ・一般選抜又は特別選抜志願者のうち希望する者
⑯	作品(作曲)	▲	▲	▲			・音楽教育サブプログラムの専門科目2で(エ)「作曲」を選択する者のみ提出 ・これまでに作曲, 又は編曲した作品を提出すること(21頁参照)(注4)
⑰	ポートフォリオ 又は論文等	▲	▲	▲			・美術・工芸教育サブプログラム志願者のみ提出 ・ポートフォリオのサイズは自由, 一冊にまとめて提出 ・論文等研究物は著書又は実践研究報告書も可, 様式は任意(17頁参照)(注4)
⑱	作品(書道)	▲	▲	▲			・書道教育サブプログラム志願者のみ提出 ・書道作品5点を提出すること(17頁参照)(注4)

(注1) 出願資格(1)の②(4頁参照)により出願する者は、学位授与証明書又は学位授与申請受理証明書を提出してください。



(注2) 本学所定の用紙は、本学ウェブサイトからダウンロード、印刷してください。2枚にわたるものは両面で印刷してください。

《<https://www.u-gakugei.ac.jp/nyushi/shushi/>》

(注3) 中国(香港・マカオ・台湾を除く。以下同じ。)の高等教育機関を卒業した者は、出身学校の学長、学長又は学部長が作成した卒業証明書の代わりに中国高等教育学生信息网(CHSI)において申請・取得した以下の書類(英文版)を各自印刷して提出してください。

- ・「Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate」
- ・「Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate」

中国の高等教育機関を卒業見込みの者は、日本語版又は英語版(中国語の原本を提出する場合は必ず日本語又は英語の翻訳を添付すること)の卒業見込証明書の代わりに、中国高等教育学生信息网(CHSI)において申請・取得した以下の書類(英文版)を各自印刷して提出してください。

- ・「Online Verification Report of Student Record」

※中国高等教育学生信息网(CHSI)の証明書については、申請から取得まで時間を要するため、期間に余裕をもって申請するようにしてください。

(注4) ⑨・⑩～⑬に添付する報告書・作品等は別便でもかまいません。別便とした封筒には、必ず氏名を記入の上、「教職大学院 教育実践研究履歴申告書」、「教職大学院 書道作品」等内容がわかるよう明記して、「東京学芸大学入試課」あてに郵送してください。

(注5) その他必要に応じて証明書等の提出を求める場合があります。

(4) 検定料について

① インターネット出願サイトにおける手続時又は手続後、次のいずれかの方法で検定料 30,000 円(検定料に加え、支払い方法に応じた振込手数料も加算されます)を納入してください。検定料の支払いを完了すると出願登録内容の変更及び出願登録の取り下げはできません。

(ア) クレジットカードでの支払い

インターネット出願サイト登録時、画面の指示に従って支払手続を行ってください。

(イ) ネットバンキングでの支払い

インターネット出願サイト登録時、画面の指示に従って支払手続を行ってください。

(ウ) コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアで支払手続を行ってください。

(エ) ペイジー(Pay-easy)対応銀行ATM(現金自動預払機)での支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー(Pay-easy)対応銀行ATMにて画面の指示に従って支払手続を行ってください。

② 一旦納入した検定料は、次の場合を除き返還しません。

(ア) 出願書類が受理されなかった場合

(イ) 検定料を振り込んだが出願書類を提出しなかった場合

(ウ) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

※ 検定料の返還について

㊦ 上記(ア)に該当する場合

出願書類を返送する際に、検定料の返還請求手続方法について同封するので、それにより返還請求手続をしてください。

㊧ 上記(イ)又は(ウ)に該当する場合

速やかに本学経理課 (TEL: 042-329-7143) に連絡し、検定料の返還請求手続をしてください。
なお、連絡が無い場合や返還請求手続が無い場合は、返還できないので注意してください。

※ 検定料の免除について

震災及び台風等(激甚災害指定)で被災した志願者に対して、検定料の免除措置を行います。
詳しくは本学のウェブサイトをご覧ください。

《<https://www.u-gakugei.ac.jp/02nyushi/menjo.html>》



(5) 受験票の発行及び受験者心得の確認について

「受験票」はインターネット出願サイトにおいて以下の日程で発行します。発行可能になりましたら出願時にご登録いただいたメールアドレスに通知します。試験当日までに必ず受験票をダウンロードし、A4用紙にカラー印刷(拡大・縮小は不可)のうえ、試験当日持参してください。

〔A日程〕令和7年9月24日(水) 10時頃

〔B日程〕令和8年2月6日(金) 10時頃

また、受験票の発行にあわせてA日程は令和7年9月24日(水)、B日程は令和8年2月6日(金)に本学ウェブサイトに「受験者心得」を掲載いたします。試験にかかる重要な内容となりますので、掲載後、各自速やかに確認してください。

《<https://www.u-gakugei.ac.jp/nyushi/shushi/>》



8. 受験に際して配慮を必要とする者の事前相談

(1) 障がいがある等の理由で、受験上及び修学上配慮を必要とする者若しくは不安を感じる者は、出願に先立ち相談締切日までに事前相談申し出書(診断書等関係書類添付)を提出し、あらかじめ本学と相談の上出願してください。(なお、内容によっては対応に時間を要する場合もあるので、可能な限り早期に申し出てください)

(2) 障がい等のある志願者が、選抜の際に不利に扱われることはありません。

(3) 事前相談申し出書には次の内容を記載してください。(様式は問いません)

- ① 志望するプログラム・サブプログラム名
- ② 障がい等の種類・程度
- ③ 受験上及び修学上配慮を必要とする事項
- ④ 大学等でとられていた特別措置
- ⑤ 日常生活の状況
- ⑥ 連絡先(住所及び電話番号やメールアドレスなど)
- ⑦ その他参考となる事項

(4) 相談締切日〔A日程〕令和7年7月4日(金)、〔B日程〕令和7年12月26日(金)

(5) 問い合わせ先 東京学芸大学学務部入試課
〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1
電話 042-329-7203 (平日9時~12時, 13時~17時)

9. 選抜方法等

(1) 選抜方法

「学力検査」（小論文及び専門科目）、「面接」，「出願書類」により総合して行います。ただし，選抜区分によっては，小論文，専門科目を課さず，面接，出願書類により行います。なお，専門科目には実技が含まれることがあります。

(2) 合否判定基準

大学院教育学研究科では，受験科目の成績が1科目（科目によっては，構成する種類の1種類）でも本研究科の定めた得点基準に達していない場合は，総合点の如何にかかわらず不合格とします。

(3) 配点

小論文 100点 専門科目 100点 面接・出願書類 100点

(4) 学力検査等の日程及び内容等

①〔A日程〕

試験期日	試験時間	試験科目	対象となる選抜区分
令和7年 10月18日（土）	9：00～10：00	小論文	一般選抜 現職教員選抜 外国人留学生等選抜
	10：30～12：00	専門科目 （プログラム・サブプログラム によっては実技を含む）	
	13：30～	面接	全区分
令和7年 10月19日（日）	9：00～（実施する場 合は前日に掲示します）	面接	*予備日

※実技については，面接終了後に行う場合があります。

※総合教育実践プログラムの「特別選抜」の面接は10月18日（土）10：00～12：00で実施します。

〔B日程〕

試験期日	試験時間	試験科目	対象となる選抜区分
令和8年 2月14日（土）	10：00～	面接	派遣教員選抜

- ② 現職教員選抜，派遣教員選抜の受験者，一般選抜の該当者には面接終了後，引き続き，「実務経験によって実習8単位を修得したものとみなすことができるか」を判断するための面接を行います。

(5) 学力検査等会場 東京学芸大学（東京都小金井市貫井北町4-1-1）

JR中央線 「武蔵小金井駅」下車（北口）

- ・京王バス「小平団地」行き又は「国分寺駅北口」行き乗車，「学芸大正門」下車
- ・徒歩約25分

JR中央線・西武線 「国分寺駅」下車（北口）

- ・京王バス「武蔵小金井駅北口」行き乗車，「学芸大正門」下車
- ・徒歩約20分

※ 各プログラム・サブプログラムの試験室等は，試験前日午前10時に本学所定の掲示板及びウェブサイト上に掲示します。ただし，試験室には入れません。

※ 試験当日は，正門を利用してください。

○学力検査等の内容及び時間

試験期日		10/18日(土)			10/19(日)
プログラム等	試験科目・時間 選抜区分	小論文 9:00 ～ 10:00	専門科目 10:30～12:00 (○：必答問題，●選択問題)	面接 13:30～	面接 〔予備日〕
マ学校組織 ネジメン ト プログラム	現職教員選抜	専攻 共通 小論文	【専門科目】 ○論述 学校マネジメント，教育政策の動向，人材育成等に 関する論述	全員が 受験する	
	外国人留学生 等選抜				
	派遣教員選抜				
総合教育実践 プログラム	一般選抜	専攻 共通 小論文	【専門科目】 ○論述 授業設計・カリキュラム・学級経営・道徳教育等学 校教育全般的内容に関する論述	全員が 受験する	
	現職教員選抜				
	外国人留学生 等選抜				
	派遣教員選抜				
	特別選抜	面接（※特別選抜のみ面接を午前中に実施します） 10：00～12：00			
教科領域指導プログラム	一般選抜	専攻 共通 小論文	【専門科目】 ○国語科教育 小学校，中学校，高等学校の国語科のカリキュラム と教育内容及びその指導・評価等に関する問題	全員が 受験する	
	現職教員選抜				
	外国人留学生 等選抜				
	派遣教員選抜				
	特別選抜				
社会科教育サブプログラム	一般選抜	専攻 共通 小論文	【専門科目】 ●小学校社会科 ●中学校社会科 ●高等学校地理総合 ●高等学校歴史総合 ●高等学校公共 } 選択問題 左記の教育内容と その指導，評価，授 業改善の要点など に関する問題から1題 を選択	全員が 受験する	
	現職教員選抜				
	外国人留学生 等選抜				
	派遣教員選抜				
	特別選抜				

試験期日		10/18日(土)			10/19(日)
プログラム等	試験科目・時間 選抜区分	小論文 9:00 ～ 10:00	専門科目 10:30～12:00 (○:必答問題, ●選択問題)	面接 13:30～	面接 〔予備日〕
教科領域指導プログラム	数学教育サブプログラム	一般選抜	専攻 共通 小論文	【専門科目】 ○数学教育・数学 小学校算数科, 中学校・高等学校数学科のカリキュラムや学習指導, 評価等に関する問題, 及び, 上記教科の内容や教材に関わる問題	全員が 受験する
		現職教員選抜			
		外国人留学生等選抜			
		派遣教員選抜			
		特別選抜			
	理科教育サブプログラム	一般選抜	専攻 共通 小論文	【専門科目】 ●理科教育 ●物理教育・物理学 ●化学教育・化学 ●生物教育・生物学 ●地学教育・地学 } 選択問題 左記から1題を選択	全員が 受験する
		現職教員選抜			
		外国人留学生等選抜			
		派遣教員選抜			
		特別選抜			
	音楽教育サブプログラム	一般選抜	専攻 共通 小論文	※詳細は21頁参照	全員が 受験する
		現職教員選抜			
		外国人留学生等選抜			
		派遣教員選抜			
		特別選抜			

試験期日		10/18日(土)			10/19(日)	
プログラム等	試験科目・時間 選抜区分	小論文 9:00 ～ 10:00	専門科目 10:30～12:00 (○: 必答問題, ● 選択問題)	面接 13:30～	面接 〔予備日〕	
教科領域指導プログラム	美術・工芸教育サブプログラム	一般選抜	専攻 共通 小論文	【専門科目1】 ○英語(辞書を使用してよい) ※電子辞書不可 【専門科目2】 ○美術科教育に関する論述 【専門科目3】 ○ポートフォリオ 作品, 研究活動記録又は論文などの研究物による審査(事前提出) ※ サイズは自由, 一冊にまとめて提出。論文は, 著書又は実践研究報告書も可, 書式は任意。	全員が 受験する	
		現職教員選抜				
		外国人留学生等選抜				
		派遣教員選抜				
		特別選抜				
	書道教育サブプログラム	一般選抜	専攻 共通 小論文	【専門科目1】 ○書道科教育(国語科「書写」を含む)についての論述 【専門科目2】 ○作品(出願手続時に事前提出するもの。11頁参照。) 以下の書道作品5点を提出すること。 ・漢字仮名交じりの書(創作) ・漢字の書(臨書及び創作) ・仮名の書(臨書及び創作) ※ 作品に第三者による制作証明書を添付すること。未表装も可。	全員が 受験する	
		現職教員選抜				
		外国人留学生等選抜				
		派遣教員選抜				
		特別選抜				
保健体育教育サブプログラム	一般選抜	専攻 共通 小論文	【専門科目1】 ○共通問題 【専門科目2】 ●体育科教育 ●体育学 ●運動学 ●健康教育 } 選択問題 左記から1題を選択	全員が 受験する		
	現職教員選抜					
	外国人留学生等選抜					
	派遣教員選抜					
	特別選抜					

試験期日		10/18日(土)			10/19(日)
プログラム等	試験科目・時間 選抜区分	小論文 9:00 ～ 10:00	専門科目 10:30～12:00 (○:必答問題, ●選択問題)	面接 13:30～	面接 〔予備日〕
教科領域指導プログラム	技術教育サブプログラム	一般選抜	専攻 共通 小論文	【専門科目】 ○技術教育	全員が 受験する
		現職教員選抜			
		外国人留学生等選抜			
		派遣教員選抜			
		特別選抜			
	家庭科教育サブプログラム	一般選抜	専攻 共通 小論文	【専門科目1】 ○共通問題 小学校・中学校・高等学校の家庭科教育に関する問題	全員が 受験する
		現職教員選抜		【専門科目2】 ●家庭科教育 ●衣生活 ●食生活 ●住生活 ●保育 ●家庭経営	
		外国人留学生等選抜		} 選択問題 左記から1題を選択	
		派遣教員選抜			
		特別選抜			
	英語教育サブプログラム	一般選抜	専攻 共通 小論文	【専門科目】 ○英語科教育	全員が 受験する
		現職教員選抜			
		外国人留学生等選抜			
		派遣教員選抜			
		特別選抜			
	情報教育サブプログラム	一般選抜	専攻 共通 小論文	【専門科目】 ○情報教育 情報科教育法(小中における情報活用能力育成を含む)に関連する内容 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法(教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む))に関連する内容	全員が 受験する
		現職教員選抜			
		外国人留学生等選抜			
		派遣教員選抜			
		特別選抜			

試験期日		10/18日(土)			10/19(日)
プログラム等	試験科目・時間 選抜区分	小論文 9:00 ～ 10:00	専攻 共通 小論文 【専門科目】 10:30～12:00 (○:必答問題, ●選択問題)	面接 13:30～	面接 〔予備日〕
教科領域指導プログラム	幼児教育サブプログラム	一般選抜	専攻 共通 小論文	【専門科目】 ○幼児教育	全員が 受験する
		現職教員選抜			
		外国人留学生等選抜			
		派遣教員選抜			
		特別選抜			
	養護教育サブプログラム	一般選抜	専攻 共通 小論文	【専門科目】 ○養護教育・学校保健	全員が 受験する
		現職教員選抜			
		外国人留学生等選抜			
		派遣教員選抜			
		特別選抜			
特別支援教育高度化プログラム	一般選抜	専攻 共通 小論文	【専門科目】 ○特別支援教育	全員が 受験する	
	現職教員選抜				
	外国人留学生等選抜				
	派遣教員選抜				
	特別選抜				
教育プロジェクトプログラム	学校教育課題サブプログラム	一般選抜	専攻 共通 小論文	【専門科目】 ○学校教育課題に関する論述	全員が 受験する
		現職教員選抜			
		外国人留学生等選抜			
		派遣教員選抜			
		特別選抜			

試験期日		10/18日(土)			10/19(日)
プログラム等	試験科目・時間 選抜区分	小論文 9:00 ～ 10:00	専門科目 10:30～12:00 (○:必答問題, ●選択問題)	面接 13:30～	面接 〔予備日〕
教育プロジェクトプログラム	国際理解・外国人児童生徒教育サブプログラム	一般選抜	専攻 共通 小論文	【専門科目】 ○国際理解・外国人児童生徒教育	全員が 受験する
		現職教員選抜			
		外国人留学生等選抜			
		派遣教員選抜			
		特別選抜			
	環境教育サブプログラム	一般選抜	専攻 共通 小論文	【専門科目】 ○環境教育	全員が 受験する
		現職教員選抜			
		外国人留学生等選抜			
		派遣教員選抜			
		特別選抜			

○音楽教育サブプログラムの学力検査等の内容及び時間

(一般選抜・現職教員選抜・外国人留学生等選抜)

試験科目 ・時間 選択課題の 内容	専門科目 10:30~11:30	面接・専門科目(選択課題, 弾き歌い) 13:30~ ※時間は当日に指示する	
(ア) 声楽 (イ) ピアノ (ウ) 管弦打	筆記試験 (音楽科教育に関する 基礎的・基本的事項 についての筆記試験)	実技試験	面接, 弾き歌い
(エ) 作曲		作品についての試問	面接, 弾き歌い
(オ) 音楽学 (カ) 音楽科教育学		論述試験	面接, 弾き歌い

一般選抜, 現職教員選抜, 外国人留学生等選抜において音楽教育サブプログラムを志望する者は, 次の(専門科目1)から(専門科目3)の全てを受験。

(専門科目1) 筆記試験: 音楽科教育に関する基礎的・基本的事項についての筆記試験(60分)

(専門科目2) 選択課題: 次の(ア)から(カ)の中から1つを選択

(ア) 声 楽: バロックから現代までのいわゆるクラシックジャンルとして認められる歌曲, オペラ, 宗教曲から任意の1曲を原語により暗譜で歌う。オペラ, 宗教曲は原調で歌うこと。ただし, 通常歌われている調に関してはこの限りではない。伴奏はピアノのみとし, 伴奏者を同伴すること。

(イ) ピアノ: L.v.Beethoven: ピアノソナタより任意の1曲を選び, 第1楽章を暗譜で演奏する。繰り返しは省略。

(ウ) 管弦打楽器: 次の楽器から1つを選択し, 任意の1曲を演奏する。

リコーダー(Rec.), フルート(Fl.), オーボエ(Ob.),
クラリネット(Cl.), サクソフォーン(Sax.), ファゴット(Fg.),
ホルン(Hrn.), トランペット(Trp.), トロンボーン(Trb.),
ユーフォニアム(Euph.), テューバ(Tub.), ヴァイオリン(Vn.),
ヴィオラ(Va.), チェロ(Vc.), コントラバス(Cb.), マリンバ(Mrb.)
伴奏を必要とする場合は, 伴奏者を同伴することができる。暗譜の必要はない。

(エ) 作 曲: これまでに作曲した作品, 又は編曲した作品を出願時に提出する。
編成, 曲数は自由。また, その作品についての試問を行う。

(オ) 音 楽 学: 音楽史に関する論述試験(60分)

(カ) 音楽科教育学: 論述試験(60分)

(専門科目3) 弾き歌い: 小学校学習指導要領(平成29年告示)第2章第6節音楽の第5, 6学年で示されている共通教材および中学校学習指導要領(平成29年告示)第2章第5節音楽で示されている共通教材より, 計3曲を選択し, 当日指定された1曲を弾き歌いする(主旋律を歌うこと)。暗譜の必要はないが, 楽譜を用いる場合は持参すること。楽譜および調は受験生の自由とする。

10. 合格者の発表

〔A日程〕 令和7年10月31日（金） 午前10時

〔B日程〕 令和8年3月5日（木） 午前10時

本学ウェブサイト上で合格者受験番号一覧を7日間掲載するとともに、合格者には合格通知書等を郵便で発表当日に発送します。

なお、電話等による問い合わせには一切応じません。

教育学研究科入試情報

《<https://www.u-gakugei.ac.jp/nyushi/shushi/index.html>》



11. 欠員補充第2次募集

入学定員に不足が生じた場合は、欠員補充のための第2次募集を実施することがあります。欠員補充第2次募集を実施する場合は、12月中旬以降に本学ウェブサイトに募集要項等を掲載します。

《<https://www.u-gakugei.ac.jp>》



12. 入学手続

所定の諸経費を納入し、下記のとおり郵送により必要書類を提出してください。A日程においては、郵送手続ができない場合に限り、入学手続日に直接持参することを認めます。詳細は、合格者に対し「合格通知書」に同封する書類で確認してください。

なお、期間内に入学手続を完了しない者は、入学を辞退したものと取り扱います。

〔A日程合格者〕…郵送又は直接来学

①郵送の場合

令和7年11月17日（月）必着とします。（「書留郵便」でお送りください。）

宛先 〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1 東京学芸大学入試課

②来学の場合

受付日…令和7年11月17日（月）当日のみ

受付時間…9時30分～11時30分、13時30分～15時30分

（受付時間以外は入学手続ができないため、時間を厳守でお願いします。）

場 所…東京学芸大学（場所の詳細は合格通知書に同封します。）

〔B日程合格者〕…郵送のみ

入学手続は郵送による受付のみとする。令和8年3月16日（月）必着とします。（「書留郵便」でお送りください。）

宛先 〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1 東京学芸大学入試課

13. 諸経費

（1）入学料 282,000円

（2）授業料 267,900円（春学期分）

535,800円（年額）

（注）① 入学料及び授業料は、改定することがあります。

② 一旦納入した入学料は返還しません。

③ 春学期分の授業料について、上記入学手続期間に納入しない場合は、令和8年4月1日から4月30日までの間に納入してください。

- ④ 授業料の納入については、希望により春学期分の納入の際に秋学期分も合わせて納入することができます。
- ⑤ 授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。
- ⑥ 授業料については、入学手続きを行った者が令和8年3月31日（3月31日が土日の場合は、3月31日以前の平日）までに入学を辞退した場合には、納入した者の申し出により、当該授業料相当額を返還します。

14. 留意事項

- (1) 受験のための宿泊施設のあっせんは行いません。
- (2) この募集要項に記載されていることについて変更が生じたときは、本学ウェブサイト上で周知するとともに、必要に応じて出願者に通知等を行うことがあるので留意してください。
- (3) 試験当日に最寄りの駅から試験場周辺にかけて、勧誘や販売等をしている者がいることがありますが、それらの行為は、東京学芸大学とは全く関係ないので十分注意してください。不当な料金を請求される等のトラブルに巻き込まれても本学は一切責任を負いません。

15. 入学試験情報

(1) 過去の入学試験問題・解答例

過去5年間のうち志願者のあったプログラム・サブプログラムの入学試験問題・解答例は、東京学芸大学図書館にて閲覧できます。また、直近の3年分をサイバーカレッジ（大学過去問題専門サイト）から閲覧・ダウンロードできます。

本学図書館 《<https://lib.u-gakugei.ac.jp/>》

サイバーカレッジ 《<http://www.cybercollege.jp/u-gakugei-gs/index.php>》



(2) 令和8年度入学者選抜試験の不合格者に対して、本人の請求に基づき各受験科目（科目を構成する種類ごとの得点を除く）の得点を開示します。

① 請求期間・方法

令和8年3月2日（月）～3月31日（火）

郵送（令和8年3月31日（火）の消印有効）

② 必要書類

ア. 開示請求書

イ. 受験票（本人確認のため）

本学所定の用紙（ウェブサイト上の用紙をプリントアウトして使用）

《<https://www.u-gakugei.ac.jp/nyushi/shushi/-2.html>》

掲載開始：令和8年2月中旬 掲載予定



16. 個人情報の取扱いについて

個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人東京学芸大学の保有する個人情報の保護に関する規程」に基づいて取り扱います。

本学に提出する出願書類等に記載された個人情報は、入学者選抜及び合格通知並びに入学手続きを行うために利用します。また、個人情報は入学後の教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（奨学金申請等）及び授業料等に関する業務を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係教職員以外への提供は行いません。

○入学料及び授業料免除制度

経済的理由により入学料又は授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者には、申請により選考の上、納付すべき入学料又は授業料が免除される制度があります。

手続等の詳細は、本学のウェブサイト（下記URL）又は入学手続案内に同封する「入学料及び授業料免除等について」をご覧ください。

東京学芸大学ウェブサイト
学生生活・キャリア支援>入学料・授業料の免除・徴収猶予制度
《<https://www.u-gakugei.ac.jp/tuition-exemption/>》



※ご不明な点につきましては、以下連絡先にお問い合わせください。

連絡先 東京学芸大学 学務部 学生課 学生支援係（電話：042-329-7186）

○日本学生支援機構奨学金の予約採用制度

（詳細）日本学生支援機構ウェブサイト

《<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/yoyaku/index.html>》



早くから入学後の経済計画や研究計画が立てられるように『予約採用』申請することを強くお勧めします。『予約採用』は出願・入学よりも前に申請することになりますので、本学大学院教育学研究科へ出願・入学する意思があれば申請可能です。※なお、入学直後の4月に申請する『在学採用』制度もあります。

	申請時期	初回振込時期
予約採用	書類配布：令和7年9月中旬～ 申 込：令和7年10月中旬 結果通知：令和8年1月下旬	令和8年4月中旬又は5月中旬 ※進学届提出時期によって分かります。

予約採用の申し込みを希望する場合は、本学のウェブサイト（下記URL）から専用サイト（新年度分は9月中旬掲載予定）にアクセスし、手続方法に従って申請してください。なお、外国人留学生は対象になりません。

東京学芸大学ウェブサイト
学生生活・キャリア支援>奨学金制度
《<https://www.u-gakugei.ac.jp/scholarship/>》



○本学へのアクセス・構内キャンパスマップ

本学のウェブサイト（下記URL）にて確認してください。

《<https://www.u-gakugei.ac.jp/access/>》



教育学部・教職大学院・修士課程は「インターネット出願方式」になります。

東京学芸大学インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです。「学生募集要項」で必ず詳細を確認して不備の無いように出願してください。



STEP

1

事前準備

インターネットに接続されたパソコン、カラー印刷対応のプリンターを用意してください。
 出願に必要な書類は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。
 出願に必要な書類は、学部・大学院の各選抜区分や出願先によって異なります。それぞれの「学生募集要項」を確認しながら準備をしてください。
 インターネット出願サイトからダウンロードして印刷する書類以外にも、各選抜区分や出願先に応じて、東京学芸大学webサイトから様式をダウンロードして作成する書類や、高校や競技団体等(大学院に出願する場合は大学や勤務先等)に作成を依頼する書類・証明書等が必要になります。
 必要書類の不足・不備が生じないように注意しながら準備を進めてください。

STEP

2

インターネット出願サイトにアクセス

インターネット出願サイト ▶ <https://e-apply.jp/ds/u-gakugei/>
 または、
 東京学芸大学webサイト内 ▶ <https://www.u-gakugei.ac.jp/>
 リンクからアクセス



STEP

3

マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
 なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



① 初めて登録する方は「マイページ登録」からログインしてください。



② メールアドレスの登録を行って「仮登録メールを送信」をクリックしてください。



③ ユーザー登録画面から「ログインページへ」をクリックしてください。



④ 登録したメールアドレスに初期パスワードと本登録用URLが届きます。
 ※@e-apply.jpのドメインからのメールを受信できるように設定してください。



⑤ ログイン画面から登録したメールアドレスと④で届いた「初期パスワード」にて「ログイン」をクリックしてください。



⑥ 初期パスワードの変更を行ってください。



⑦ 表示された個人情報を入力して「次へ」をクリックしてください。



⑧ 個人情報を確認して「この内容で登録する」をクリックしてください。



⑨登録完了となります。
「マイページへ」を
クリックしてください。



⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、「出願手続きを行う」ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので「ログアウト」ボタンをクリックしてください。

STEP

4

出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①マイページログイン後の
「出願手続きを行う」ボタン
から登録画面へ



②入試選択



③出願先の選択



④顔写真のアップロード
「写真選択へ」ボタンをクリックし
写真を選択します。



⑤個人情報(氏名・住所等)の
入力



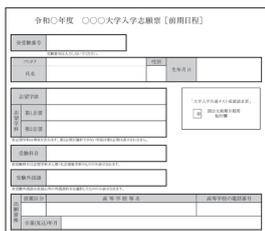
⑥出願内容の確認



⑦申込登録完了
「受付番号」が表示されるので、必ずメモ
をして控えてください。
「引き続き支払う」ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



⑧検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑨出願に必要な書類PDF
(イメージ)
※検定料納入後に出力可能となります。

申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

なお、「検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号
メモ(13桁)

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号
メモ(11桁)

確認番号
メモ(6桁)

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済
番号メモ(11桁)

収納機関番号
(5桁)

5 8 0 2 1

※収納機関番号は、ペイジーでお支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。

STEP

5



検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されている必要があります

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi



マルチコピー機

あなたも、コンビニ、
FamilyMart



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

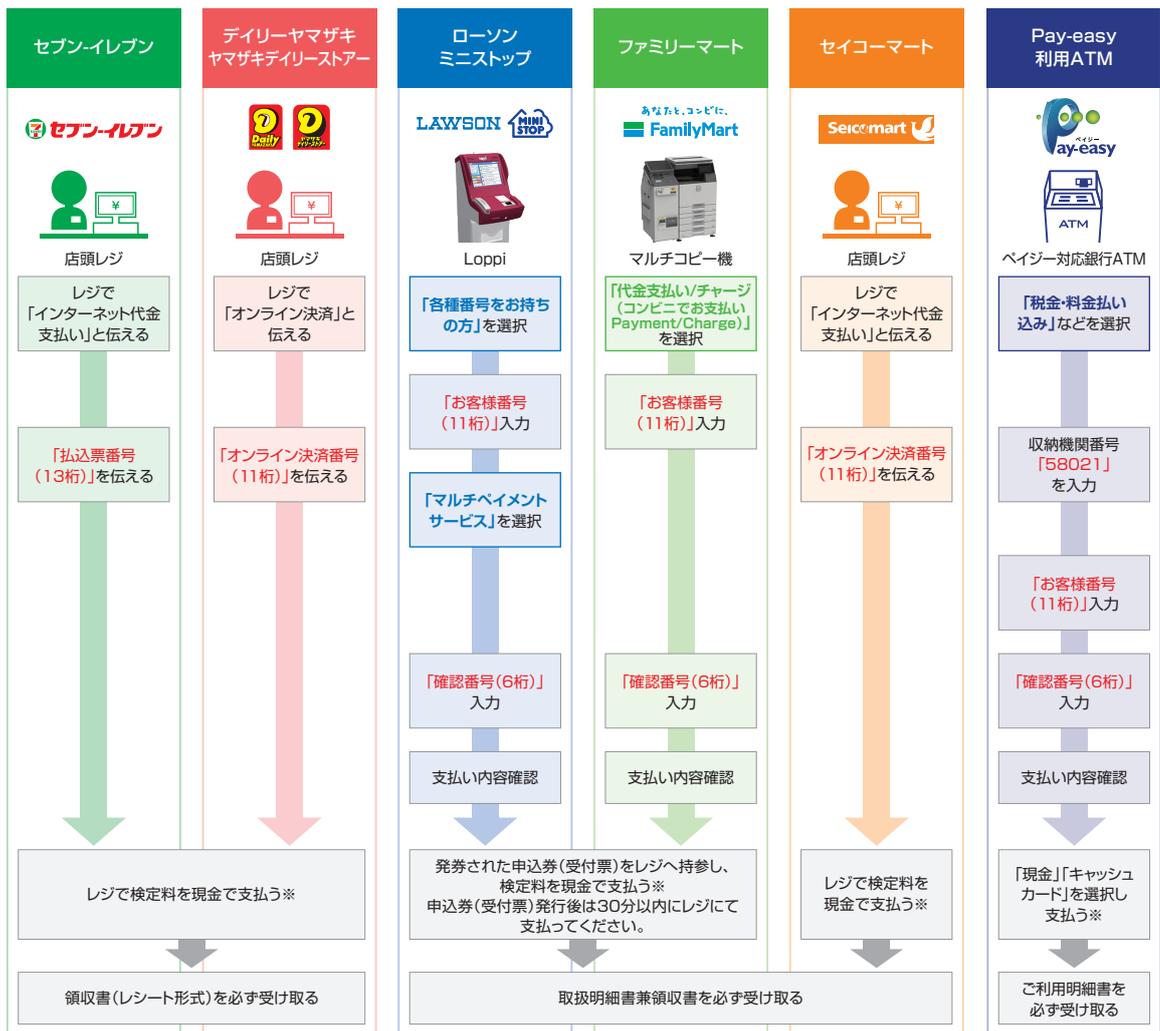
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

STEP

6

出願書類の印刷と郵送

登録だけでは出願は完了していませんので注意してください。

出願登録、検定料の支払後にダウンロードできる書類をカラーで片面印刷し、その他の必要書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から「書留速達郵便」で郵送してください。(持参による出願は受け付けません。)

出願書類



出願に必要な書類は、学部・大学院の各選抜区分や出願先によって異なります。それぞれの「学生募集要項」を確認しながら準備をしてください。

インターネット出願サイトからダウンロードして印刷する書類以外にも、各選抜区分や出願先に応じて、東京学芸大学webサイトから様式をダウンロードして作成する書類や、高校や競技団体等(大学院に出願する場合は大学や勤務先等)に作成を依頼する書類・証明書等が必要になります。

必要書類の不足・不備が生じないように注意しながら準備を進めてください。

【注意】 学部「一般選抜」において、「前期日程」と「後期日程」の両方とも本学に出願する場合は、試験日程ごとの出願手続が必要です。必要書類は「前期日程」と「後期日程」の2通に分けて郵送提出する必要がありますのでご注意ください。

出願に必要な書類の詳細は「学生募集要項」を参照してください。いったん受理した検定料は、「学生募集要項」に記載している理由によるものを除き返還しません。



出願書類提出用宛名シート
市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)
に貼り付けて作成



宛名シート
送付先の住所・宛名は
「宛名シート」に
自動で印刷されます。

入学志願票の印刷方法



- (1) マイページに表示された「志願票(印刷)」のボタンをクリックしてください。
- (2) 検定料の支払いが正常に完了すると「志願票(印刷)」のボタンがクリックできるようになり入学志願票の出力ができます。(「宛名シート」は入学志願票に続いて出力されます。)

〈出願完了〉

出願時の 注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後、検定料を支払い、出願書類を郵送して完了となります。登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届かなければ出願を受理しませんので注意してください。

インターネット出願は24時間可能ですが、検定料の支払い(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど施設によって異なります)や出願書類の郵送提出はそれぞれの期間・時間内に限ります。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

7

受験票の印刷

本学で出願を受理した後、受験票の印刷が可能になりましたら、出願時に登録されたメールアドレスに通知をします。

インターネット出願サイトから受験票をダウンロードのうえ、A4用紙にカラー片面印刷をして試験当日に持参してください。

(本学から受験票の郵送は行いません。)

